

『ボイス81』上伊那地域会議（市町村と県との地域懇談会）

日時：平成20年10月20日（月）

午後2時～4時

場所：伊那合同庁舎 講堂

1 開 会

2 知事あいさつ

3 意見交換

（1）地域共通の政策課題について

（2）市町村長提案・要望項目について

4 閉 会

<配付資料>

- ・『ボイス81』上伊那地域会議における議題等一覧（資料1）
- ・上伊那地域における医療体制の現状と課題について（資料2）
- ・上伊那地域の工業（資料3）

『ボイス81』上伊那地域会議出席者名簿

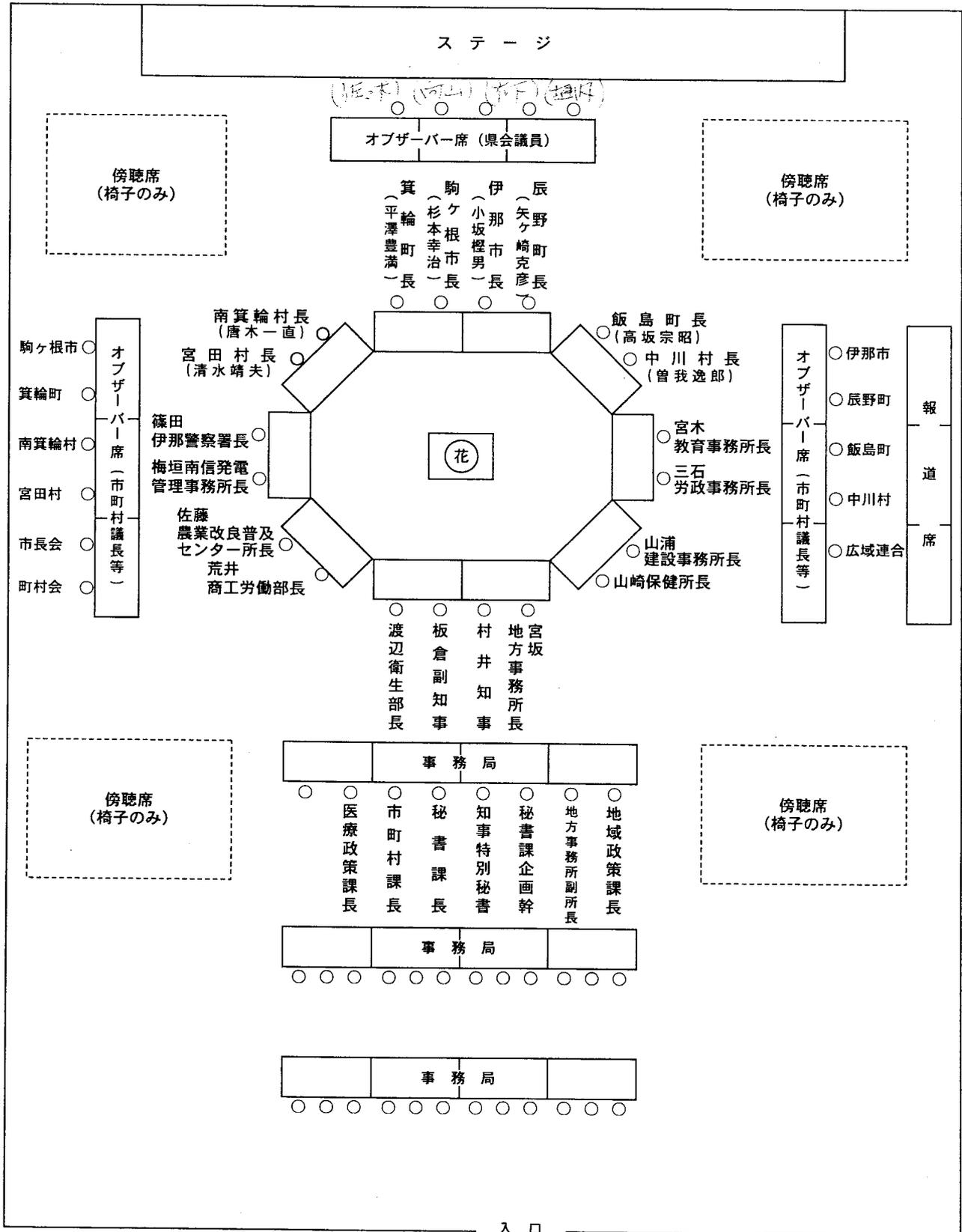
平成20年10月20日(月) 14:00~16:00
伊那合同庁舎 講堂

職 名	氏 名
伊 那 市 長	小 坂 櫛 男
駒 ヶ 根 市 長	杉 本 幸 治
辰 野 町 長	矢 ヶ 崎 克 彦
箕 輪 町 長	平 澤 豊 満
飯 島 町 長	高 坂 宗 昭
南 箕 輪 村 長	唐 木 一 直
中 川 村 長	曾 我 逸 郎
宮 田 村 長	清 水 靖 夫
長 野 県 知 事	村 井 仁
長 野 県 副 知 事	板 倉 敏 和
衛 生 部 長	渡 辺 庸 子
商 工 労 働 部 長	荒 井 英 彦
上伊那地方事務所長	宮 坂 正 巳
伊 那 保 健 所 長	山 崎 宗 廣
伊 那 建 設 事 務 所 長	山 浦 直 人
南 信 労 政 事 務 所 長	三 石 真
上 伊 那 農 業 改 良 普 及 セ ン タ ー 所 長	佐 藤 光 吉
伊 那 教 育 事 務 所 長	宮 木 由 博
南 信 発 電 管 理 事 務 所	梅 垣 治 男
伊 那 警 察 署 長	篠 田 彦 雄

『ボイス81』上伊那地域会議 配席図

日時：平成20年10月20日(月) 14:00～

場所：伊那合同庁舎講堂



「ボイス81」上伊那地域会議における議題等一覧

1 地域共通の政策課題

政策課題	No	市町村	項 目
地域医療の充実について	1	伊那市 駒ヶ根市 辰野町 飯島町 南箕輪村 中川村	(1) 公立病院の経営安定と医師確保 (2) 安心して子どもを産める体制整備への支援
	2	箕輪町	健康増進事業に対する財政支援について
ものづくり産業の活性化について	1	伊那市	人材養成と公共交通の高速化について
	2	駒ヶ根市	地域産業を支える人材育成機関の充実や技術支援機関の設置
	3	箕輪町	ものづくり産業誘致のための農用地転用期間の短縮と河川の改修について
	4	宮田村	企業に必要な人材確保・人材育成支援について

2 市町村長からの提案・要望

項目	No	市町村	件名
河川整備	1	伊那市	三峰川総合開発事業（戸草ダムの建設）の促進について
障害者等支援	2	駒ヶ根市	リハビリテーション機能を持つ障害者等の支援拠点施設の設置
砂防事業	3	辰野町	砂防事業の促進について
	4	箕輪町	砂防事業の充実について
公安	5	南箕輪村	安全・安心のためのよりどころとしての駐在所への警察官の増員
地方自治	6	中川村	今後の基礎自治体のあり方に関する県の考え方について
道路整備	7	伊那市	一般国道153号伊那バイパス建設促進について
	8	辰野町	主要幹線道路の整備促進について
	9	箕輪町	権兵衛トンネル開通による交通量増加に伴う伊那西部広域農道の維持補修費用の費用負担について
	10	飯島町	伊那中部広域農道の県道格上げについて
	11	飯島町	国・県道改良に伴う財源確保について
	12	南箕輪村	国道361号線伊那木曾連絡道路南原地区沿線の歩道設置
	13	中川村	主要地方道伊那生田飯田線（竜東線）飯島町本郷～中川村飯沼、北組の改良促進について
	14	宮田村	県道への歩道設置について

上伊那地域における医療体制の現状と課題について

1 地域の医療資源

(1) 医療施設数及び病床数

区 分	施設数						病床数							
	病 院		一 般 診 療 所	歯 科 診 療 所	助産所	病 院				一 般 診 療 所				
	精 神	一 般				精 神	感 染 症	一 般	療 養	一 般	療 養			
上伊那 (H20. 4. 1現在)	13	4	9	123	82	4	1,867	482	4	1,079	302	121	62	59
長野県 (H18. 10. 1現在)	138	16	122	1,533	1,003	57	25,282	5,287	176	15,831	3,988	1,862	1,444	418

(注) 「施設数」は、休止中の施設を除く。助産所は有床施設。「病床数」は、許可病床数であること。

・上伊那地域の病院は、13病院1,867床（精神病床482床、一般病床1,079床、療養病床302床、感染症病床4床）で、うち公立病院は4病院（両小野国保病院、町立辰野総合病院、伊那中央病院、昭和伊南総合病院）である。

(2) 人口10万対施設数及び病床数

(平成18年10月1日現在)

区 分	施設数				病床数			
	病 院	精 神	一 般	一 般 診 療 所	病 院	精 神	一 般	一 般 診 療 所
上伊那	6.8	2.1	4.7	61.6	960.0	251.8	708.2	61.7
長野県	6.3	0.7	5.6	70.0	1,155.0	241.5	905.4	85.1
全 国	7.0	0.8	6.2	77.2	1,273.1	275.8	987.1	125.1

・人口10万人当たりの一般病院数は、4.7院（県平均5.6、全国6.2）で、一般病床数は708.2床（県平均905.4、全国987.1）となっており、いずれも県平均を大きく下回っている。

(3) 保健医療従事者数

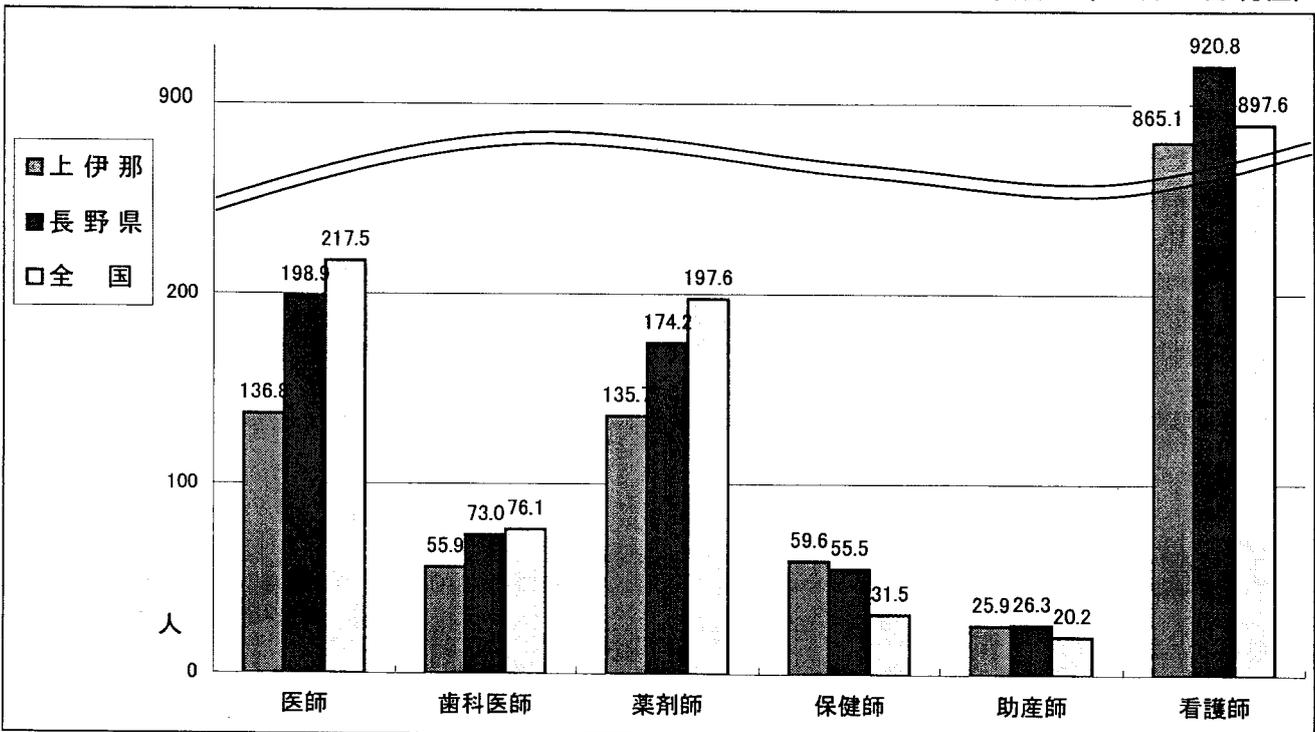
(平成18年12月31日現在)

	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師
上伊那	264	108	262	115	50	1,670
長野県	4,354	1,597	3,813	1,215	575	21,464

(注) 「看護師」は看護師と准看護師を合わせた総数。

(4) 人口10万対保健医療従事者数

(平成18年12月31日現在)



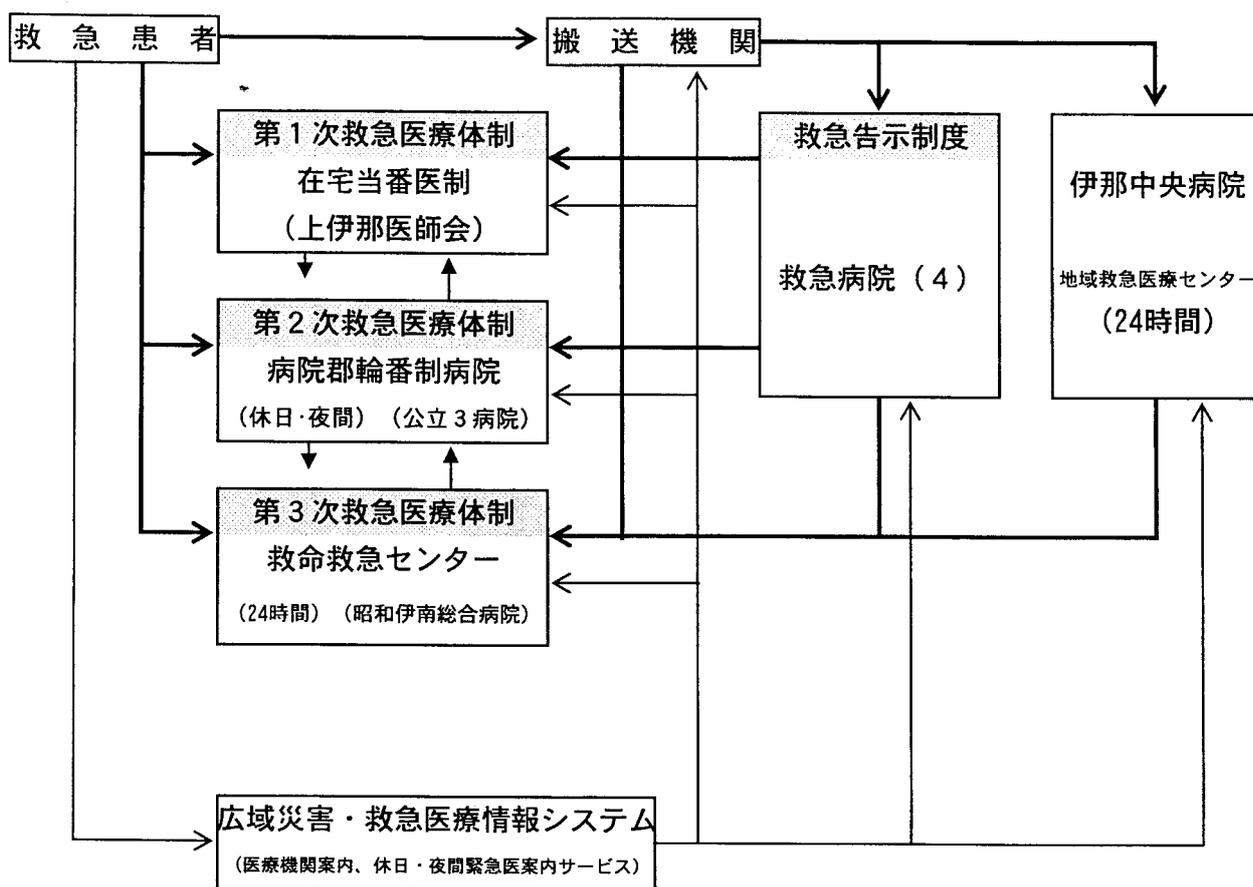
(注) 「看護師」は看護師と准看護師を合わせた総数。

・医療従事医師数は、平成18年末で264名となっている。人口10万人当たりの医師数は136.8人（県平均198.9、全国217.5）で、県内10医療圏の中では、木曾医療圏に次いで下から2番目に低い水準にある。

(5) 病院連携への取り組み

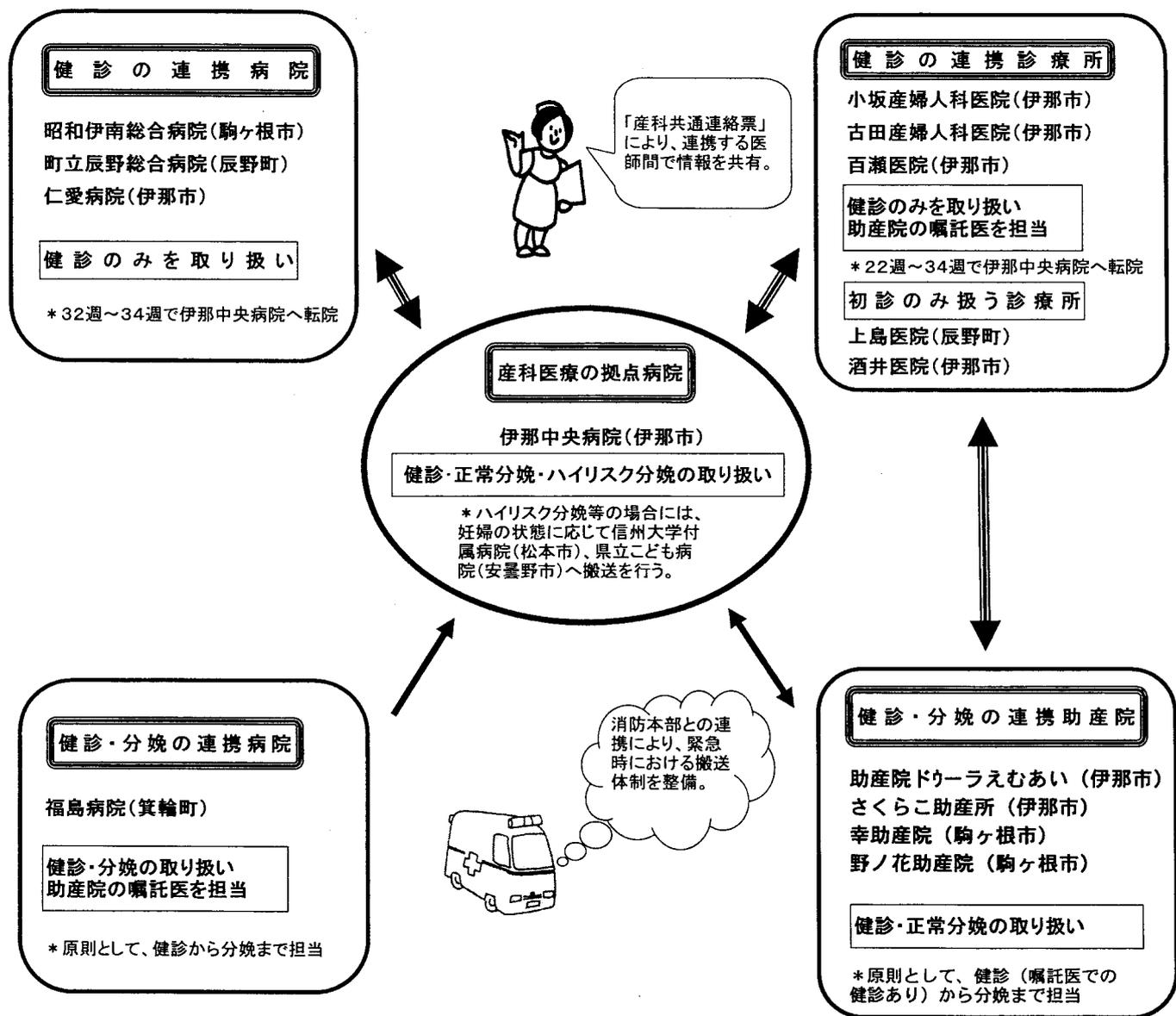
・地域の医療資源が乏しい中で、従来から伊那中央病院、昭和伊南総合病院、町立辰野総合病院の公立3病院が地域医療の中心的な役割を担ってきたところ。
 ・3病院の医師不足が深刻化する中、地域の医療体制を持続的に確保していくためには、医療資源の有効活用及び安定した病院経営の視点から、3病院の連携強化に向けた取り組みが不可欠。

2 救急医療体制



- (1) 第1次救急医療体制
 ・休日昼間は、上伊那医師会の在宅当番医制により、6～8診療所が対応している。なお、夜間初期救急は、救急病院が対応してきたが、伊那中央病院では平成19年7月から、昭和伊南総合病院では平成20年8月から、準夜勤帯における地元医師会からの応援体制が整備された。
- (2) 第2次救急医療体制
 ・病院群輪番制により、伊那中央病院、町立辰野総合病院、昭和伊南総合病院の3病院で休祭日、土曜午後、夜間に診療を実施している。また、伊那中央病院では、24時間対応の「地域救急医療センター」が運用をしている。
- (3) 第3次救急医療体制
 ・昭和54年に昭和伊南総合病院に救命救急センターが設置され、現在、10床が指定されている。
- (4) 救急医療体制の充実強化
 ・夜間1次救急の恒久的な体制整備として、「夜間初期救急センター」の設置について検討を進める必要がある。また、地域における持続的な救急医療体制を確保するため、各病院の有する資源や機能に応じた役割分担について検討を進めることが重要。

3 産科医療連携体制



(1) 医師不足により産科医療環境が厳しさを増す中、平成20年4月から産科医療の集約化を図った。伊那中央病院が産科医療の拠点病院となり、他の産科病院・産科医院・助産所では妊婦検診を行い、分娩は伊那中央病院・福島病院・助産所で行う産科医療連携体制を開始している。なお、現在の医療資源には限りがあることから、里帰り分娩については原則お断りしている。

(2) 産科医療の集約化は緊急避難的に実施したものであるが、産科医師の確保が困難を極める中、引き続き連携体制に参画する各機関が適切に機能を分担・連携しながら、地域全体で医療水準を維持していくことが重要である。

上伊那地域の工業

[人口]

平成20年4月1日現在

区分	上伊那	全県	対県比
人口	192,589人	2,174,163人	8.9%

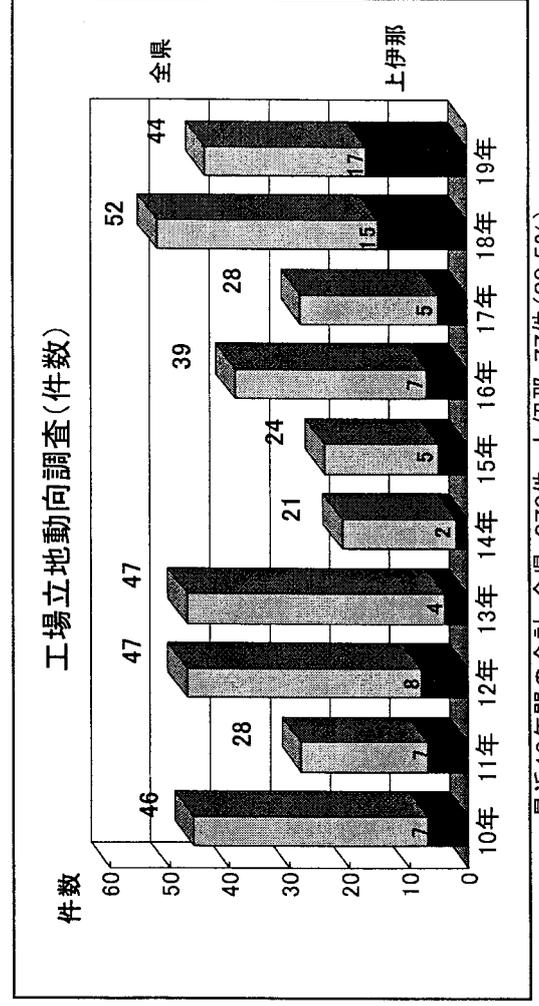
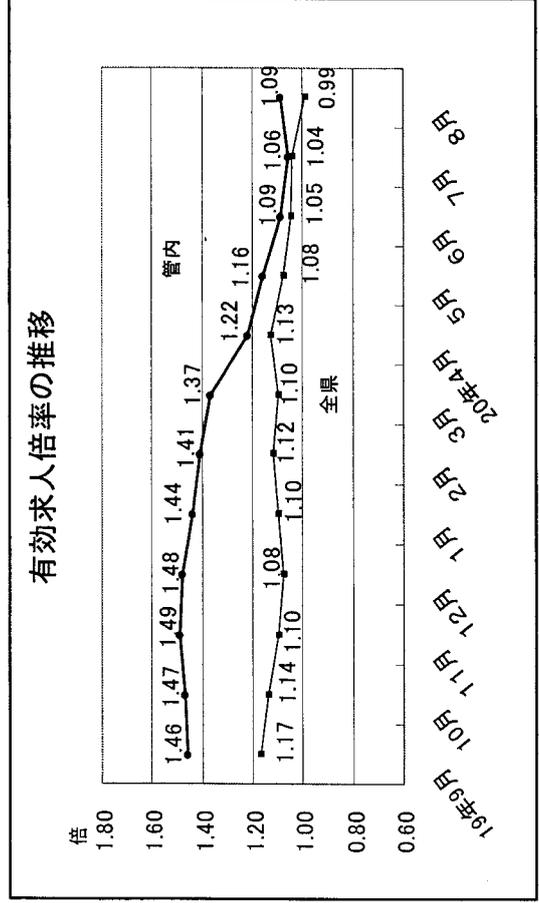
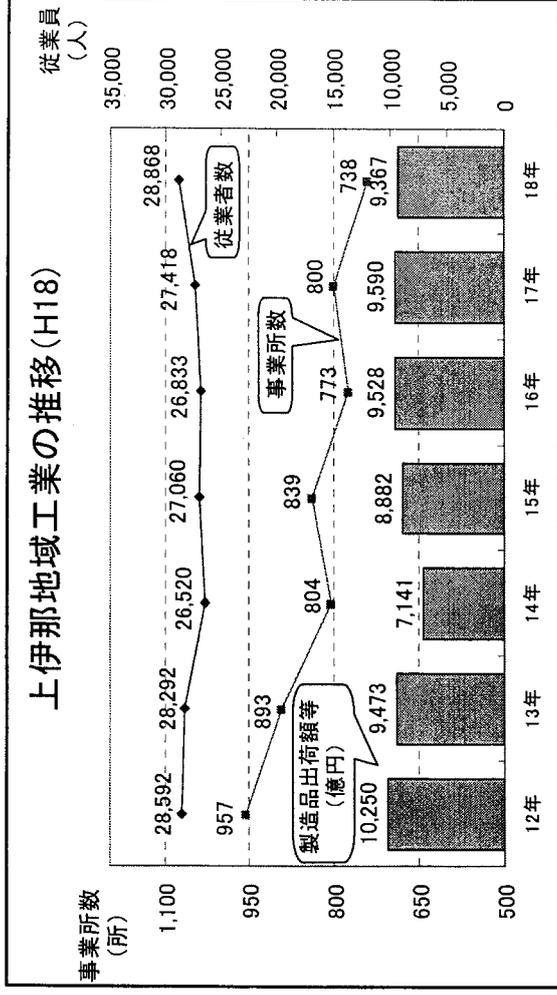
※ 毎月人口異動調査に基づく推計人口

[工業]

平成18年12月31日現在

区分	上伊那	全県	対県比
事業所数	738所	6,371所	11.6%
従業者数	28,868人	215,938人	13.4%
製造品出荷額等	9,367億円	6兆3,619億円	14.7%

※ 平成18年工業統計調査結果



・最近10年間の合計: 全県: 376件、上伊那: 77件 (20.5%)